

産業標準化事業表彰および IEC1906 賞の受賞について

2022年10月28日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所の職員が、「令和4年度産業標準化事業表彰 国際標準化奨励者（産業技術環境局長表彰）」ならびに「2022年 IEC(国際電気標準会議)1906 賞」を受賞しましたのでお知らせします。なお、表彰式（IEC1906 賞については伝達式）は10月24日（月）に、東京都千代田区内（都市センターホテル）において行われました。

記

○令和4年度産業標準化事業表彰 国際標準化奨励者（産業技術環境局長表彰）

産業標準化の適切な推進と普及を促進し、もってわが国経済産業の発展と国民生活の向上に寄与するため、経済産業省が、国際規格や日本産業規格の作成、普及などに寄与し、その功績が顕著であると認められる者および組織に対して授与するものです。

受賞者：軌道技術研究部 レールメンテナンス 主任研究員 ^{ほそだ みつる} 細田 充

【主な功績】（経済産業省発表）

ISO/TC 269(鉄道分野)/SC 1(インフラストラクチャ)/WG 7(レール締結装置)の設立時から WG セクレタリ(WG 事務局)に就任し、欧州のコンビーナ*とともに延べ6年間で7件の国際規格化に貢献。プロジェクトを円滑に進めた結果、日本のプレゼンスの向上等が図られ、日本で使われている試験方法の提案に対する合意を獲得。また、軌道技術の専門家として、5つのWG等のエキスパートを務め日本技術の反映等に貢献したほか、ISO/TC 269/SC 1国内委員会の発足や、タイ、マレーシア及びベトナムの3か国に対する日本技術の啓蒙活動等も推進した。これらの経験を基に、今後の更なる活躍が期待される。

※：作業グループのリーダー

○2022年 IEC1906 賞

1906年のIEC創立から100周年を迎えることを記念して創設された賞で、IECが、電気技術の標準化およびその関連活動への多大な貢献、業績をたたえるために授与するものです。2022年度は日本から36名の受賞者がありました。

受賞者：鉄道国際規格センター 特任参与 ^{たなか ひろし} 田中 裕

田中特任参与は IEC/TC 9（鉄道用電気設備とシステム専門委員会）での功績について表彰されました。



国際標準化奨励者 細田 充